



宗像市では小中学校の給食で、毎月19日の週を「むなかた育ちウィーク」として定め、宗像育ちの地場産物をふんだんに使った給食の提供を4月から開始しました。おいしい給食を提供することで、食への興味関心を高めるとともに、給食時には生産者の紹介動画を全クラスで放送しており、4月、5月はキャベツ、玉ねぎの収穫の様子を紹介しました。7月以降は海産物や宗像牛など「食のまち宗像」らしい食材を提供し、子ども達の記憶に残る給食の提供と、心身ともに健康なむなかた育ちの子どもの育成を目指します。

【取材案内】

名 称 6月の「むなかた育ちウィーク」

日 時 6月21日(金) 12:45~13:20(12時に大会議室集合)

場 所 宗像市立自由ヶ丘中学校(宗像市朝町 1019-4)

内 容 動画の視聴：宗像産米粉を使ったパンができるまでの動画を放映

放送委員による「むなかた育ち」の紹介：給食献立中の宗像産の食材の紹介

宗像市長、宗像市教育長、JA 宗像直販課課長が子どもたちと給食を食べます

7月以降はブリ、アジ、鯛、イカ、あかもく、あまおう、甘夏、宗像牛等を予定

【本市の給食の特徴】

- ・全校単独調理場方式で、毎日温かい給食を提供(全国の小中学校の実施率は39.1%)
- ・全校に栄養教諭や栄養士を配置し、学校ごとに子どもに合わせた献立を提供
- ・3直売所や生産者と連携し、時期に合わせた地場産物の積極的な活用
- ・学べる給食として、食材の生産者や生産過程を取材した動画の放映やゲストティーチャーによる話



4月 注目食材:キャベツ

宗像産:米、キャベツの和え物、宗像産卵の厚焼き玉子



5月 注目食材:たまねぎ

米、たまねぎたっぷり豚汁、宗像産卵

【問い合わせ先】 ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください。

宗像市学校管理課(担当:椎葉、浪瀬) TEL0940-36-1322